

## 事業評価の結果（内容評価項目）

福祉サービス種別 障がい者・生活介護  
事業所名（施設名）親愛の里夢工房

### 第三者評価の判断基準

長野県福祉サービス第三者評価基準の考え方と評価のポイント、評価の着眼点【障がい者・児福祉サービス版】共通項目に係る判断基準による  
○判断基準の「a、b、c」は、評価項目に対する到達状況を示しています。

「a」評価・・・よりよい福祉サービスの水準・状態、質の向上を目指す際に目安とする状態

「b」評価・・・aに至らない状況＝多くの施設・事業所の状態、aに向けた取組みの余地がある状態

「c」評価・・・b以上の取組みとなることを期待する状態

評価対象	評価項目	評価項目 評価 細 目	評 価 着 目	評 価 着 眼 点	コメ ント
A 利用者の尊重	(1) 自己決定の尊重	① 利用者の自己決定を尊重している。 個別支援と取組を行っている。	a)	■ ■ 1 ■ ■ 2 ■ ■ 3 ■ ■ 4 ■ ■ 5 ■ ■ 6	利用者の自己決定を尊重するエンパワメントの理念にもとづく個別支援を行っている。 利用者の主体的な活動については、利用者の意向を尊重しながら、その発展を促すように支援を行っている。 趣味活動、衣服、理美容や嗜好品等については、利用者の意思と希望や個性を尊重し、必要な支援を行っている。 生活に関するルール等については、利用者と話し合う機会（利用者同士が話し合う機会）を設けて決定している。 利用者一人ひとりへの合理的配慮が、個別支援や取組を行うじて具体化されている。 利用者の権利について職員が検討し、理解・共有する機会が設けられている。
					○利用者のストレングス、エンパワメントに注視した個別支援計画にもとづいた支援、グループ活動支援に努めていることが職員インタビュー等で窺えました。 ○コミュニケーション困難な利用者の意向の把握には苦慮していることですが、利用者の障がい特性や支障等により、重度の利用者に対する支援に努めています。 ○利用者同士の話し合いの機会は、障がい特性から難しいとのことです。利用者同士の嗜好等については、職員が工夫で対応されています。また、職員が一人ひとりの思いに寄り添って把握されています。

(2) 権利擁護	① 利用者の権利擁護に関する取組が徹底されている。	■ 7 利用者の権利擁護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。	c)	<p>○利用者の権利擁護、権利侵害の防止等への取組みは、法人が掲げる「利用者の人権をより重んじ、自己選択・自己決定により良く生きる。」の基本目標に基づいて、人権侵害のリスクマネジメントとして虐待防止委員会の設置、虐待防止対応規程、すながい者虐待や不適切なケアに対する規程、また、身体拘束の内容を得ない場合の身体拘束の内容を定め、「身体拘束ゼロ対策等行動制限防止に係る規定」のもとで適切に対応されています。</p> <p>●権利擁護に関する各種マニュアルは整備されていますが、特に重度の障がいのある方への説明周知も求められています。具体的な権利をわかりやすく利用者に提示し、利用者の権利についての資料と丁寧な説明をお願いします。</p>
		□ 8 利用者の権利擁護のための具体的な取組を利用者や家族に周知している。		
		■ 9 権利侵害の防止と早期発見するための具体的な取組を行っている。	■ 10 原則禁止される身体拘束を緊急やむを得ない場合に一時的に実施する際の具体的な手続と実施方法等を定め、職員に徹底している。	■ 11 所管行政への虐待の届出・報告についての手順等を明確にしている。
		■ 12 権利擁護への虐待の届出・報告についての手順等を明確に検討する機会を定期的に設けている。	■ 13 権利侵害が発生した場合に再発防止策等を検討し、理解のもとで実践する仕組みが明確化されている。	

○利用者の尊重と権利擁護は、福祉施設・事業所の使命・役割の基本であり、虐待等の権利侵害を防止することには法的・道徳的・倫理的に必須とされる事項です。よつて、取組の重要性が十分でない場合には、「CJ評価」とします。

		2 生活支援	
(1) 支援の基本		①利用者の自律・自立生活ための支援を行っている。	
		■	14 利用者の心身の状況、生活習慣や望む生活等を理解し、一人ひとりの自律・自立に配慮した個別支援を行っている。
b)		■	15 利用者が自力で行う生活上の行為は見守りの姿勢を基本とし、必要な時には迅速に支援している。
		□	16 自律・自立生活のための動機づけを行っている。
		□	17 生活の自己管理ができるように支援している。
		■	18 行政手続、生活関連サービス等の利用を支援している。
		■	②利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。
b)		■	19 利用者の心身の状況に応じて、さまざまな機会や方法によりコミュニケーションがはかられている。
		■	20 コミュニケーションが十分ではない利用者への個別的な配慮が行われている。
		■	21 意思表示や伝達が困難な利用者の意思や希望をできるだけ適切に理解するための取組を行っている。
		■	22 利用者のコミュニケーション能力を高めるための支援を行っている。
	□	23 必要に応じて、コミュニケーション機器の活用や代弁者の協力を得るなどの支援や工夫を行っている。	

(3) 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を行っている。	b)	24	利用者が職員に話したいことを話せる機会を個別に設けている。	○利用者に対しての情報提供は画一的な方法ではなく、障がい特性に留意された提供方法やイントラビューで窺いました。 ●利用者の意思を尊重した支援については、関係職員による取り組みを共有等統一的継続性のある取扱いの必要性があります。利用者の意見を確認する方法として、一人ひとりの環境、利用者が話したい職員、いわゆるIPDに留意した支援について、また適切な意思決定までのプロセスについての仕組み作りをお願いします。				
		25	利用者の選択・決定と理解のための情報提供や説明を行っている。					
		26	利用者の意思決定の支援を行っている。					
		27	相談内容について、サービス管理責任者等と関係職員による検討と理解・共有を行っている。					
		28	相談内容をもとに、個別支援計画への反映と支援全体の調整等を行っている。					
(4) 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。	a)	29	個別支援計画にもとづき利用者の希望やニーズにより選択できる日中活動（支援・メニュー等）の多様化をはかっています。	○日中活動は、フライデイスク等のニユースポーツや、外部講師による音楽トリズム体操のミュージックケア等多様な活動メニューやが提供されています。特に、生産活動メニューやアート等多様な活動でレンタルト、ヨーヨー等のオーディナル製品受付、紙、ヨースキー等のサイクル業者から受注する分別作業、広告会社の月刊誌の村内住民へ配達作業、村内1・2か所の公民館からの文書、意見書回収等就労支援事業を用意している様子が生き生きと活動している様子が「広報誌（夢だより）」でも伺うことができました。				
		30	利用者の状況に応じて活動やプログラム等へ参加するための支援を行っている。					
		31	利用者の意向にもとづく余暇やレクリエーションが適切に提供されている。					
		32	文化的な生活、レクリエーション、余暇及びスポーツに関する情報提供を行っている。					
		33	地域のさまざまな日中活動の情報提供と必要に応じた利用支援を行っている。					
		34	個別支援計画の見直し等とあわせて日中活動と支援内容等の検討・見直しを行っている。					

(5) 利用者の障がいの状況に応じた適切な支援を行っている。	a)	■	35 職員は障がいに関する専門知識の習得と支援の向上をいかっている。
36 利用者の障がいによる行動や生活の状況などを把握し、職員間で支援方法等の検討と理解・共有を行っている。	b)	■	36 利用者の障がいによる行動や生活の状況などを把握し、職員間で支援方法等の検討と理解・共有を行っている。
37 利用者の不適応行動などの行動障がいに個別的かつ適切な対応を行っている。	c)	■	37 利用者の不適応行動などの行動障がいに個別的かつ適切な対応を行っている。
38 行動障がいなど個別的な配慮が必要な利用者の支援記録等にもとづき、支援方法の検討・見直しや環境整備等を行っている。	d)	■	38 行動障がいなど個別的な配慮が必要な利用者の支援記録等にもとづき、支援方法の検討・見直しや環境整備等を行っている。
39 利用者の障がいの状況に応じて利用者間の関係の調整等を必要に応じて行っている。	e)	■	39 利用者の障がいの状況に応じて利用者間の関係の調整等を必要に応じて行っている。
(2) 日常的な生活支援			
① 個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っている。	a)	■	40 食事は利用者の嗜好を考慮した献立を基本としておいしく、楽しく食べられるように工夫されている。
41 利用者の心身の状況に応じて食事の提供と支援等を行っている。	b)	■	41 ○食事については支援の指針となるマニュアルが整備され、個別支援計画に反映される仕組みがあり、利用者の一人ひとりの嗜好や希望や課題等の支援方法が具体的に記載されています。
42 利用者の心身の状況に応じて入浴支援や清拭等を行っている。	c)	■	42 ○入浴、排せつ支援については、職員により差異が見られるため、標準的実施方法や個別支援計画の内容について再度、共通認識が得られるような検討も随時行われていることを窺いました。
43 利用者の心身の状況に応じて移動・移乗支援を行っている。	d)	■	43 利用者の心身の状況に応じて移動・移乗支援を行っている。
44 利用者の心身の状況に応じて排せつ支援を行っている。	e)	■	44 利用者の心身の状況に応じて排せつ支援を行っている。

(3) 生活環境	① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	a)	■ 45	○利用者にとって生活の場が快適ではあり、安心と安全な場であることは大切な要件です。活動の場や休憩室、静養室、居場所等が整備され、利用者の趣向を反映させたレイアウトであります。利用者が工が不調の時には他の利用者の影響を考慮して、個室が用意されています。施錠の必要な場面拘束の指針に沿って適切に対応していました。
			■ 46	居室、食堂、浴室、トイレ等は、清潔、適温と明るい雰囲気を保っています。
			■ 47	利用者が思い思いで過ごせるよう、また安眠（休息）できるよう生活環境の工夫を行っている。
			■ 48	他の利用者に影響を及ぼすような場合、一時的に他の部屋を使用するなどの対応と支援を行っている。
			■ 49	生活環境について、利用者の意向等を把握する取組と改善の工夫を行っている。
			■ 50	○生産活動の回収活動や生活場面の中での歩行活動や外出散歩、買い物等を通しての生活訓練に直結します。
			■ 51	○協力医療機関のリハビリ、職員が個別・グループによるリハビリ、体操等を実施しています。
			■ 52	○協力医療機関のリハビリ、職員が個別・グループによるリハビリ、体操等を実施しています。
			■ 53	○協力医療機関のリハビリ、職員が個別・グループによるリハビリ、体操等を実施しています。
(4) 機能訓練・生活訓練	① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。	a)	■ 54	定期的にモニタリングを行い、機能訓練・生活訓練計画や支援の検討・見直しを行っている。

<p>(5) 健康管理・医療的な支援</p> <p>① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。</p>	a)	■	55	<p>入浴、排せつなどの支援のさまざまな場面をつうじて、利用者の健康状態の把握に努めている。</p> <p>医師又は看護師等による健康相談や健康面での説明の機会を定期的に設けている。</p> <p>利用者の体調変化等における迅速な対応のための手順、ための工夫を行っている。</p> <p>利用者の体調変化等における迅速な対応のための手順、医師・医療機関との連携・対応を適切に行っている。</p> <p>障がい者・児の健康管理等について、職員研修や職員の個別指導等を定期的に行っている。</p>
<p>② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。</p>	a)	■	56	<p>医療的な支援の実施についての考え方（方針）と管理者の責任が明確であり、実施手順や個別の計画が策定されている。</p> <p>服薬等の管理（内服薬・外用薬等の扱い）を適切かつ確實に行っている。</p> <p>慢性疾患やアレルギー疾患等のある利用者については、医師の指示にもとづく適切な支援や対応を行っている。</p> <p>介護職員等が実施する医療的ケアは、医師の指示にもとづく適切かつ安全な方法により行っている。</p> <p>医師や看護師の指導・助言のもと、安全管理体制が構築されている。</p> <p>医療的な支援に関する職員研修や職員の個別指導等を定期的に行っている。</p>
<p>60 医療的な支援の実施についての考え方（方針）と管理者の責任が明確であり、実施手順や個別の計画が策定されている。</p> <p>61 服薬等の管理（内服薬・外用薬等の扱い）を適切かつ確實に行っている。</p> <p>62 慢性疾患やアレルギー疾患等のある利用者については、医師の指示にもとづく適切な支援や対応を行っている。</p> <p>63 介護職員等が実施する医療的ケアは、医師の指示にもとづく適切かつ安全な方法により行っている。</p> <p>64 医師や看護師の指導・助言のもと、安全管理体制が構築されている。</p> <p>65 医療的な支援に関する職員研修や職員の個別指導等を定期的に行っている。</p>	■	■	■	<p>○医療的ケアが必要な利用者は、現在いらっしゃらないことですが、対応マニュアルは整備されています。</p> <p>○看護師により利用者のバイタルチェックが日常的に実施され、服薬などの管理、慢性疾患等の対応には、必要に応じて見直しを行ながります。</p> <p>○嘱託医の管理、慢性疾患等の対応には、必要に応じて見直しを行ながります。</p> <p>○嘱託医の管理をしていました。利用者の健康状態の把握が月1回あります。</p> <p>○感染症予防接種も事業所で定期的に実施し、また、宮田村との連携による月1回の健康診断も実施しています。</p>

(6) 社会参加、学習支援	① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	a)	<p>■ 66 利用者の希望と意向を把握し、社会参加に資する情報や学習・体験の機会を提供する等、社会参加への支援を行っている。</p> <p>■ 67 利用者の外出・外泊や友人ととの交流等について、利用者を尊重して柔軟な対応や支援を行っている。</p> <p>■ 68 利用者や家族等の希望と意向を尊重して学習支援を行っている。</p>	<p>○利用者のメンバーミーティングを開催して、意向や要望を聞く機会が実施する計画で実施する仕組みがあります。</p> <p>○障がい特性等で、社会参加活動や外出活動が困難な利用者には個別支援計画により、職員が個別に同行する等の柔軟な支援で対応していることを頼みました。</p>
		b)	<p>■ 69 利用者の社会参加や学習の意欲を高めるための支援と工夫を行っている。</p>	<p>○特に働くことに対する意欲のある利用者に対する支援計画により、個別支援事業所の見学等を同法人の就労支援実施しています。</p> <p>○隣接の地域活動支援センター（ながみ）を一括的に運営していることもあり、利用者には日常的に行き来したり、利用者は特にお昼休みにて交流しています。特にお昼休みには、両方の利用者が好きな場所で自由に休憩過ごしていました。</p>
(7) 地域生活への移行と地域生活の支援	① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	a)	<p>■ 70 利用者の希望と意向を把握し、地域生活に必要な社会資源に関する情報や学習・体験の機会を提供している。</p>	<p>○特に働くことに対する意欲のある利用者に対する支援計画により、個別支援事業所の見学等を同法人の就労支援実施しています。</p> <p>○隣接の地域活動支援センター（ながみ）を一括的に運営していることもあり、利用者には日常的に行き来したり、利用者は特にお昼休みにて交流しています。特にお昼休みには、両方の利用者が好きな場所で自由に休憩過ごしていました。</p>
		b)	<p>■ 71 利用者の社会生活力と地域生活への移行や地域生活の意欲を高める支援や工夫を行っている。</p> <p>■ 72 地域生活への移行や地域生活について、利用者の意思や希望が尊重されている。</p> <p>■ 73 地域生活への移行や地域生活に関する課題等を把握し、具体的な生活環境への配慮や支援を行っている。</p> <p>■ 74 地域生活への移行や地域生活のための支援について、地域の関係機関等と連携・協力している。</p>	<p>○特に働くことに対する意欲のある利用者に対する支援計画により、個別支援事業所の見学等を同法人の就労支援実施しています。</p> <p>○隣接の地域活動支援センター（ながみ）を一括的に運営していることもあり、利用者には日常的に行き来したり、利用者は特にお昼休みにて交流しています。特にお昼休みには、両方の利用者が好きな場所で自由に休憩過ごしていました。</p>

<p>(8) 家族等との連携・交流と家族支援</p> <p>① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。</p>	<p>a) ■ 75</p> <p>■ 76</p> <p>■ 77</p> <p>■ 78</p> <p>■ 79</p> <p>■ 80</p>	<p>家族等との連携・交流にあたっては、利用者の意向を尊重して対応を行っている。</p> <p>利用者の生活状況等について、定期的に家族等への報告を行っている。</p> <p>利用者の生活や支援について、家族等と意見交換する機会を設けている。</p> <p>利用者の生活や支援に関する家族等からの相談に応じ、必要に応じて助言等の家族支援を行っている。</p> <p>利用者の体調不良や急変時の家族等への報告・連絡ルールが明確にされ適切に行われている。</p> <p>利用者の生活と支援に関する家族等との連携や家族支援についての工夫を行っている。</p>
--	--	--

3 発達支援	(1) 発達支援  ① 子どもの障がいの状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。	a)	<input type="checkbox"/>	81	子どもの発達過程や適応行動の状況等を踏まえた発達支援（個別支援）を行っている。	対象外
		b)	<input type="checkbox"/>	82	子どもの発達に応じて必要な基本的日常動作や自立生活を支援するための活動や取組について、個別活動と集団活動等を組み合わせながら実施している。	
		c)	<input type="checkbox"/>	83	子どもの活動プログラムについてはチームで作成するとともに、子どもとの状況に応じた工夫や見直しを行っている。	
			<input type="checkbox"/>	84	子どもとともに保護者に対し、学校及び保育所や認定こども園、児童発達支援事業所等との情報共有、連携・調整をはかっている。	
4 就労支援	(1) 就労支援  ① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	a)	<input type="checkbox"/>	85	利用者一人ひとりの働く力や可能性を引き出すような取組や工夫を行っている。	対象外
		b)	<input type="checkbox"/>	86	利用者一人ひとりの障がいに応じた就労支援を行っている。	
		c)	<input type="checkbox"/>	87	利用者の意向や障がいの状況にあわせて、働くために必要なマナー、知識・技術の習得や能力の向上を支援している。	
			<input type="checkbox"/>	88	働く意欲の維持・向上のための支援を行っている。	
			<input type="checkbox"/>	89	仕事や支援の内容について、利用者への定期的な報告と話し合いを行っている。	
			<input type="checkbox"/>	90	地域の企業、関係機関、家族等との連携・協力のもとに就労支援を行っている。	

(2) 利用者に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。	a)	<input type="checkbox"/>	91	利用者の意向や障がいの状況に応じた仕事時間、内容・工程等となっている。
	b)	<input type="checkbox"/>	92	利用者が選択できるよう、多様な仕事の内容・工程等を提供するための工夫を行っている。
	c)	<input type="checkbox"/>	93	仕事の内容・工程等の計画は、利用者と作成するよう努めている。
		<input type="checkbox"/>	94	賃金（工賃）等を利用者にわかりやすく説明し、同意を得たうえで適切に支払われている。
		<input type="checkbox"/>	95	賃金（工賃）を引き上げるための取組や工夫を行っている。
		<input type="checkbox"/>	96	労働安全衛生に関する配慮を適切に行っている。
(3) 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	a)	<input type="checkbox"/>	97	職場や受注先の開拓等により仕事の機会の拡大（職場開拓）に努めている。
	b)	<input type="checkbox"/>	98	障害者就業・生活支援センター・ハローワーク等との連携を定期的かつ適切に行っている。
	c)	<input type="checkbox"/>	99	利用者の障がいの状況や働く力にあわせて、利用者と企業とのマッチングなどの就職支援を適切に行っている。
		<input type="checkbox"/>	100	就労後の利用者と職場との関係づくりなど、職場定着等の支援を必要に応じて行っている。
		<input type="checkbox"/>	101	利用者や地域の障がい者が離職した場合などの受け入れや支援を行っている。
		<input type="checkbox"/>	102	地域の企業等との関係性の構築や障がい者が働く場における「合理的配慮」を促進する取組・働きかけを行っている。
				対象外

